東急プロパティマネジメント

役員対象モックディザスター演習を実施

～災害対応力向上に向け、役員12名が参加する実践型演習を実施～

■開催概要

当社では２０２６年８月、災害発生時における事業継続体制のさらなる強化を目的として、BC推進センターの企画・運営による「モックディザスター演習（模擬災害体験演習）」を実施しました。

今回は役員12名が参加し、災害を想定したシナリオのもと、刻々と変化する状況に対応しながら、情報収集・情報共有・意思決定など、有事に求められる対応を実践的に検証しました。

参加者は限られた情報の中で優先順位を判断し、組織としてどのように行動すべきかを議論することで、危機発生時の対応力と事業継続に対する意識を高めました。

■演習を通じて

本演習では、現場向けのシナリオを役員が体験することで、各現場の対応状況を俯瞰的に見た中での経営上の指示・判断をすることの重要性を再認識しました。

本演習を通じ、情報を整理するプロセスや的確な状況把握と円滑な意思決定のポイントを再確認しました。

■演習の様子

限られた情報の中で被害状況や優先対応事項を整理し、事業継続に向けた対応方針について議論を行いました。

次々と寄せられる被害情報を踏まえながら、関係部署との連携や初動対応について検討を行いました。

■今後の取り組み

当社では、事業継続（ＢＣ）の推進におけるキーパーソンとして各部署から選抜されたＢＣ推進リーダーを対象とした演習を既に開始しております。
今後は管理職各階層・統括管理者・設備長を対象として順次実施し、実際の災害発生時に近い状況を想定した演習を通じて、ＢＣ意識の向上・情報収集・情報共有・意思決定などの対応力向上を図ります。

■ご案内

当社では本演習を各法人様向けにカスタマイズし、ご提案しております。

ご興味がある法人様は是非お問合せください。

～お問い合わせ先～
ビルマネジメント事業本部 BC推進センター
担当：若林・松本・大野
TEL：03-6372-0112

掲載日：2026年8月28日